

き っ と み つ か る
あ な た の 包 程 式



JAPAN PACK 2019

JAPAN PACK 2019 [日本包装産業展]
出展のご案内

主催：一般社団法人日本包装機械工業会

＝ JAPAN PACK 2019 開催にあたって



一般社団法人日本包装機械工業会は、2019年10月29日(火)から11月1日(金)までの4日間、幕張メッセ(千葉市)において、「JAPAN PACK 2019」(日本包装産業展)を開催いたします。

JAPAN PACK は、包装業界および関連業界における国内外の最新鋭機器・技術・サービスとそのユーザー・バイヤーが一堂に会する2年に一度のビッグイベントです。製造加工から計量、充填、包装、印刷、印字、検査、梱包など、製造ライン全体に係る最新トレンドを一貫してご覧いただける展示規模と内容を有し、ご出展・ご来場の皆様をはじめ広く関係各位よりご好評を頂戴しております。近年では展示規模も増加傾向にあり、先の開催展(2017年10月開催)においても国内外445社様から2,342小間(前回展比30社・58小間増)にてご出展いただくなど、ますますその重要性の高まりを実感しております。

JAPAN PACK 2019の開催テーマは、『きっとみつかる あなたの包程式』です。包装と密接なつながりをもつ製造工程のあらゆる先進機器・技術・サービスが集結してコラボレーションを生み出し、需要業界各位の課題解決策を“包程式”としてトータル提案する展示会を目指し、食品や医薬・化粧品などのユーザー業界をはじめとする多様な業界関係来場者へ向けた効果的なセールスプロモーションを実現できる最高の舞台をプロデュースいたします。また、多彩な併催行事の実施や、積極的な広報活動の展開などにより、商談に直接的に結びつくユーザー・バイヤーのマッチングを推進いたします。

アジア最大級の“包む”にまつわる総合展として、「JAPAN PACK 2019」は新規顧客獲得や海外市場開拓の機会創出など、皆様のビジネスチャンスの伸展に大いにご活用いただけるものと確信しております。ぜひとも「JAPAN PACK 2019」へのご出展を何卒お願い申し上げます。



一般社団法人日本包装機械工業会
会長

大森 利夫

「包む」にまつわるすべての技術がここに一挙集結!

製造加工から計量、充填、包装、印刷、印字、検査、梱包など、「包む」ことに関連する多種多様な企業、先鋭的な技術が一挙して集い、それぞれが結びつくコラボレーションが実現する場——それが JAPAN PACK です。

様々な工程の技術が集結する包装産業の総合展だからこそ、私達が「包程式」と呼ぶ、新たなつながりと相乗効果が生まれます。出展社間の提携や技術の共有がなされることで新たな販路・ビジネスが生まれ、来場するお客様の課題解決につながる——

ビジネスを一段と飛躍させる機会として、ぜひご活用ください。



出展社の技術がつながり、来場者の課題解決に

開催概要

名称
JAPAN PACK 2019 (日本包装産業展)

会期
2019年10月29日(火)～11月1日(金) 4日間
開場時間：10:00～17:00

会場
幕張メッセ
住所：261-8550 千葉市美浜区中瀬2-1

目的
国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬・化粧品製造機器、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合理化と国民生活の向上に寄与するとともに貿易の振興を図り、業界の発展に資することを目的とする

テーマ
きつとみつかる
あなたの包程式

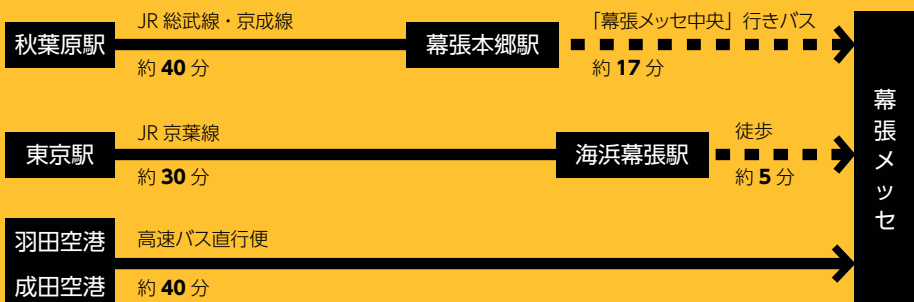
主催
一般社団法人日本包装機械工業会

後援(予定)
経済産業省／日本貿易振興機構(ジエトロ)／日本商工会議所／東京商工会議所／日本包装技術協会／幕張メッセ／その他関係官公庁・公共団体等

協賛(予定)
国内外関係産業団体・メディア／プレス等

アクセス

東京→海浜幕張まで
最速30分
※快速ご利用の場合



出展社サポートサービス

ビジネス機会の創出を多角的にサポート

見込み客の誘致や特別招待者へのアプローチ、さらに会期中にはプレゼンテーション、アワード等の様々なコンテンツを設け、出展社の皆様にひとつでも多くのビジネス機会を創出いただけるよう、一貫してサポートします。

開催前から、出展社の**来場誘致**をサポートします

ポスター、招待状による PR 誘致活動

見込み客のご来場促進のため、出展社には規定枚数のポスターと招待状を配布。なお、展示会への来場動機の調査では「出展社からのご招待」が大きな割合を占めています。関係者へのご案内にぜひご利用ください。

公式サイトに専用ページを設置

公式サイトに各出展社の専用ページを設置。お客様となる各業界へ向け、会社概要や出展製品などの情報を出展社自らが入力でき、掲載が可能となります。

特別招待者 VIP

大切なお客様にご来場いただくために、VIP 招待状を用意。VIP 招待者は、来場特典として、会場でのスムーズな受付やラウンジのご利用などが可能です。



会期中は、多彩なサービスにより**ビジネス機会の創出**をサポートします

ライン PR コーナー

製造ライン全体から出展社を視覚的にイメージできるパネルコーナーの特設を計画中です。自社ブースでの PR に加えて、ラインでの連動的なアピールを実現し、さらなる来場誘致を促進します。

JAPAN PACK AWARDS

事前にエントリーされた出展製品を、新規性や独創性等を踏まえて審査。受賞した出展社は、開発成果等を自社小間や会場内特設コーナーで顕彰できます。プレス等も取材に訪れるなど、大きなアピールを実現します。

レセプション

会期初日のオープニングレセプションをはじめ、国際レセプションなどを会期中に実施します。国内をはじめアジアを中心とした海外からの関係者との接点となる機会です。交流、懇親の場としてご活用ください。

ホスピタリティ

搬入時に会場内と出展社車両駐車場を結ぶピストンバスの運行や、出展社専用休憩スペースのご提供、公式ホテルのご案内などにより、ご出展関係業務の側面支援を図ります。

出展社プレゼンテーション

主催者が用意するプレゼンテーション会場で、多数の来場者を一堂に会して、新製品・技術などを発表することができます。展示ブースと連動した PR にご活用ください。

包装相談コーナー

来場者が抱く課題や疑問に包装のプロが直接お答えするコーナー。出展社から提供された最新技術情報と、主催者独自のデータベースを使用して、来場者のニーズに合致する出展社をご紹介することにより、ビジネスマッチングを促進します。

スポンサーシップ

会場内の広告をはじめ、会場案内図広告、ウェブバナー広告など、注目が集まる多様なスポンサーシップをご用意。事前告知や会期中の来場者へのご案内、企業としてのブランディングなどに幅広くご活用ください。



来場誘致プロモーション

製造ラインにまつわる多様な業界・業種へ積極 PR

食品関連をはじめ、医薬・化学・化粧品、流通、商社、包装資材、印刷など、製造関連技術のユーザーをはじめとして幅広い業界・業種の方々に広くご来場いただけるよう、様々なツールを駆使した来場誘致プロモーションを積極的に展開します。

ダイレクトメール

主催者が保有する独自のダイレクトメールリストを用いて、製造ラインにおけるニーズや課題を抱える国内外の産業界や、関係官公庁および公共団体などに来場者招待状を広く送付。潜在顧客へのアプローチに注力します。

公式サイト等での情報発信

公式サイト (<http://www.japanpack.jp>) で出展社情報や展示会概要、併催行事などの最新情報を随時公開するとともに、事前来場登録の受付により来場誘致を促進します。また、スマホやアプリ、SNS を駆使した情報発信も計画中です。

プレスルーム

展示会場に取材で訪れるプレス／メディアに対して専用ルームを用意。関係者に記事をまとめていただく環境を設備するとともに、最新情報の提供や各種取材アレンジなどを通じて、会期中の情報発信を促進します。

広告・パブリシティ

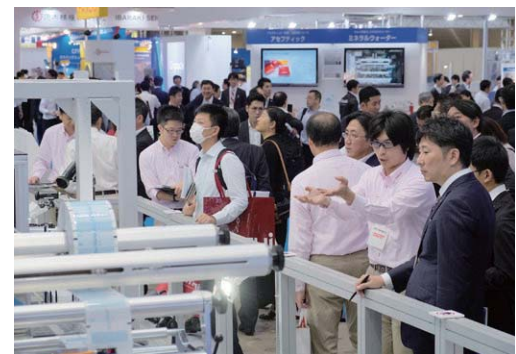
主要な産業／業界紙誌を中心として広告を掲載し、広く一般に向けた PR を展開。また、記者発表会やプレスリリースなどによるパブリシティ活動を実施し、各種プレス／メディアを通じて目的意識を持った来場者の誘致を促進します。

国内外展示会での PR

様々な関連展示会との連携により、関係資料の配布やポスター掲出などを実施し、事前 PR を推進します。国外でも積極的にアピールし、日本の製造関連技術を求めて来場する海外企業関係者も多い現状です。

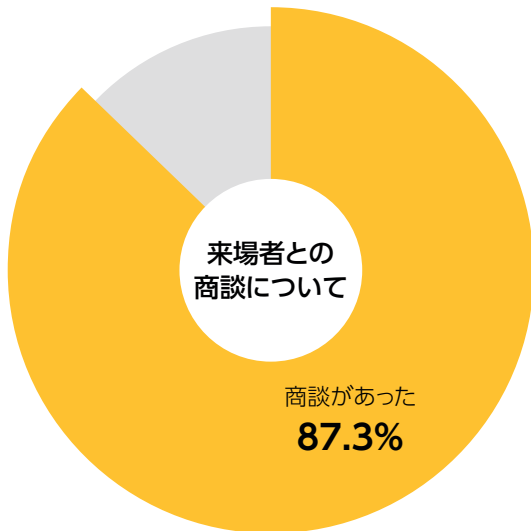
多彩な併催行事

基調・特別講演会、専門セミナー、出展社プレゼンテーション、JAPAN PACK AWARDS、包装相談コーナー、ライン PR コーナー、各種レセプション、関連業界団体等の会議・交流会など、多彩な併催プログラムを会期中に実施。展示会と連動した集客効果を図ります。




出展社の声

毎回、JAPAN PACK ではご出展いただいた企業にアンケートを依頼し、様々なご意見を集計しています。以下では、3つのテーマごとに集計データと、出展社から寄せられた好評の声をご紹介します。




来場者との面談について

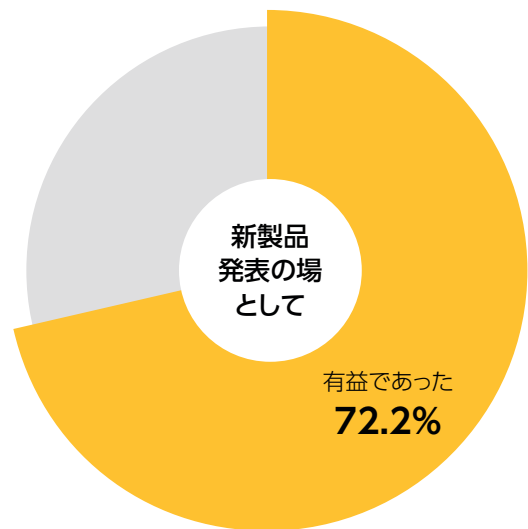
JAPAN PACK は食品業界からの来場比率が高いことに加え、食品機械メインの展示会とは異なる客層が来場するので、新規顧客の獲得がメリットです。過去、長きにわたって出展してきましたが、回を重ねるごとに着実に来場者が増えているように感じます。現在、当社の課題は、包装機械と連動した自動ラインの提案で生産性向上をさらにアピールすることです。来年はさらに多くの方々にお伝えできるよう、もっと大きな小間での出展を考えています。

 食品加工機械メーカーご担当者様

新製品発表が商談を後押し

新製品を発表する際、実演やプレゼンテーションを行うことで、より効率的に集客できました。様々な業界のお客様へ新製品のアピールができ、ブースで商談に至るだけでなく、その場で成約することもありました。来場者に新規設備導入の決定権を持つ役職の方が多いことも影響しているのではないのでしょうか。また新製品を競う JAPAN PACK AWARDS で大賞を受賞した製品は、お客様や報道各社から大きな注目を集めていました。実は当社も大賞をとるべく、鋭意開発中です。

 包装機械メーカーご担当者様



出展社間の商談について

当社では主に包装関連機器を取り扱っています。JAPAN PACK に出展した際、同様に開催されていた包装関連企業のご担当者から、当社製品を組み込んだ包装ラインを構築したいとの意向をいただきました。当社としては新たな販路が生まれ、販売範囲の拡大となりました。出展仲間だと「競合」というイメージを抱かれるかもしれませんが、総合展ゆえに様々なつながりと可能性が生まれ、当社製品や技術の今までとは異なる応用例等が見つかる一方で、当社製品の改善につながる他社製品・技術が見つげられることにも大いに魅力を感じています。

 包装関連機器メーカーご担当者様

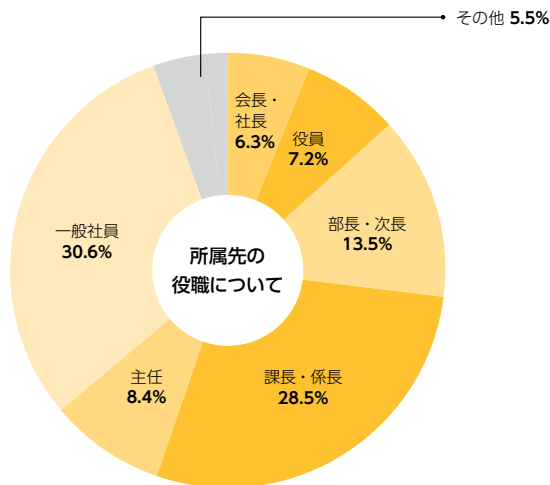
来場者の声

前回開催の JAPAN PACK 2017は、約5万名の方にご来場いただきました。来場者の所属業界・業種は、下記のとおり多岐に及んでいます。来場者を対象としたアンケート結果も、軒並み高評価をいただきました。

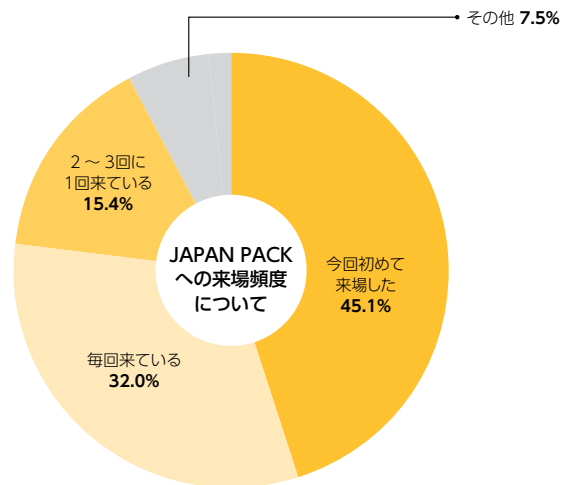
主な来場者の業界・業種

製パン・製菓関係、食肉・水産物関係、農産物関係、麺類関係、調理食品関係、飲料・乳製品関係、その他食品関係、医薬品関係、化学・化粧品関係、鉄鋼関係、自動車・輸出機器関係、繊維関係、雑貨・文具関係、流通・サービス関係、商社関係、情報機器・ソフトウェア関係、包装資材関係、印刷関係、委託包装関係、機械・機器部品関係、ロボット関係、設備・建築関係、官公庁・団体・学校関係、報道関係、その他

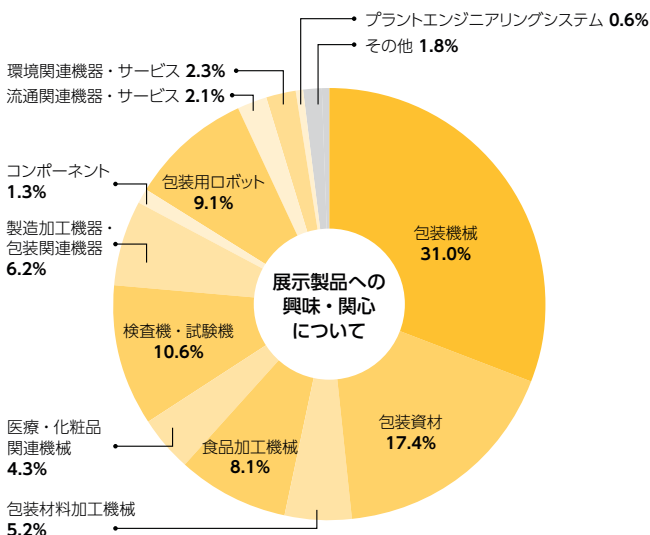
来場者の過半数が「課長以上」の役職。
スムーズに商談しやすい場として機能しています。



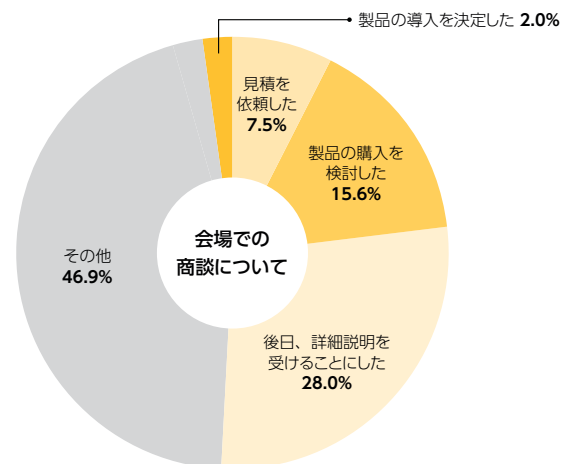
来場者の約半数が「今回初めて来場した」と回答。
新規開拓、ビジネス飛躍の可能性が広がる環境です。



包装だけに限らず、製造ライン全体に係る
様々な興味対象の方が来場しています。



「引き合い」以上の商談実現が過半数。
成約・見積・検討の方が約2割と前回より増加。



前回展 (JAPAN PACK 2017) 出展社一覽

あ	株式会社エフト	株式会社ケイユー	株式会社クリエイター 9000横浜
愛星パック株式会社	株式会社エコノス・ジャパン	／KWANG DONG	株式会社ジャパン・パッカー
ITW ダイナテック株式会社	SMAC MOVING COIL ACTUATORS	K2.NEWTECKOREA	澁谷工業株式会社
株式会社旭金属	エパ・ジャパン株式会社	株式会社ケーター製作所	／シブヤパッカー・ジグシステム株式会社
株式会社旭プレジジョン	株式会社エマー自動車	KOREA PACKAGING MACHINERY ASSOCIATION(KPMA)	／シブヤマシナリー株式会社
アサヒグリーン株式会社	株式会社エムエスティ	株式会社ケーメックス	／シブヤ精機株式会社
アジアハイテックス株式会社	株式会社エムズ	ケユーシステム株式会社	GYRO SYSTEM CO., LTD.
アズビルレーディング株式会社	オーエスマシナリー株式会社	COAD CO., LTD.	株式会社ジャパックス
ATMET KOREA	株式会社オーエム機械	公益財団法人高知県産業振興センター	SHANGHAI KASHIWAMURA
アナスト岩田株式会社	大紀商事株式会社	／廣瀬製紙株式会社	TRADING CO., LTD.
株式会社アパックス	株式会社大阪タイコー	株式会社光文堂	昌弘機工株式会社
株式会社アマギ	大阪シーリング印刷株式会社	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	城南自動機株式会社
アマノ株式会社	オーシャンテック/ロジック株式会社	高度ポリテクセンター	株式会社城南村田
アムンゼン株式会社	株式会社オートニクス	GOLD GREAT GOOD MACHINERY CO., LTD.	株式会社松楽産業
株式会社アメフレック	オートメイテッド・パッカー・システムズ	コーンズ テック/ロジック株式会社 インダストリアル マシナリー カンパニー	株式会社シンク・ラボラトリー
アルパックテック/株式会社	・ジャパン合同会社	株式会社小坂研究所	SINKPIA・JAPAN 株式会社
アルフォーインターナショナル株式会社	大森機械工業株式会社	株式会社コバード	株式会社新盛インダストリーズ
アルマール株式会社	株式会社オカバマネジメント	株式会社コマック	新日本ケミカル・オーナメント工業株式会社
AMBAFLEX ASIA PACIFIC BV	／岡栗流通株式会社	株式会社コルテック	株式会社シンメイ
AMBICA JUTE MILLS LIMITED	株式会社オクイ		株式会社進洋
アンリツインフィビス株式会社	オムニヨシダ株式会社		有限会社スコットプランニング
飯島電子工業株式会社	オリオン機械株式会社		スズキ機工株式会社
ETH ENTERPRISE PTE LTD	オリヒロ株式会社	さ	株式会社鈴木製作所
イーデーエム株式会社		サイエナジー株式会社	鈴木TM株式会社
イートリム合同会社	か	蔵王産業株式会社	鈴茂器工株式会社
イグス株式会社	加越株式会社	スクラパックス株式会社	ストラパック株式会社
石井産業株式会社	株式会社カジワラ	／株式会社キラックス	ストロ/パックジャパン株式会社
株式会社石崎電機製作所	株式会社片岡機械製作所	佐藤工業株式会社	住友商事マシネックス株式会社
株式会社イシダ	川重商事株式会社	佐藤鉄工株式会社	西華産業株式会社
／日新電子工業株式会社	／川崎重工株式会社	株式会社サム技研II	株式会社エスケイセールス
株式会社イチネケミカルズ	株式会社川島製作所	株式会社サムソン	／富士機械株式会社
伊藤忠マシンテクノス株式会社	カンケンテック/株式会社	三光機械株式会社	静甲株式会社
伊東電機株式会社	関東混合機工業株式会社	株式会社三條機械製作所	成光産業株式会社
伊藤敏株式会社	株式会社カントー	株式会社サンステーションシステムズ	株式会社西部技研
INNOVATIVE SHIELD SDN BHD	株式会社キーエンス	株式会社サンユー印刷	西部電機株式会社
茨木精機株式会社	紀州技研工業株式会社	株式会社サンヨー・シーワイビー	積水フーラー株式会社
株式会社イマコーポレーション	キソー工業株式会社	JIAXING LUCKY MOON PACKAGING MATERIAL CO., LTD.	／積水マテリアルソリューションズ株式会社
株式会社イマック	キムラシール株式会社	XIAMEN TIANHUI PACKING CO., LTD.	ゼネラル株式会社
株式会社岩井パック	株式会社久電舎	JIANGSU NEWAMSTAR PACKAGING MACHINERY CO., LTD.	ゼネラルパッカー株式会社
イワキパックス株式会社	キョウエイ株式会社	株式会社 GSI クレオス	蘇州優楽賽サプライチェーン管理有限公司
岩崎鉄工株式会社	協栄プリント技研株式会社	／大三紙化工業株式会社	ソトウ株式会社
岩谷マテリアル株式会社	株式会社京都製作所	／株式会社フジシロ	株式会社ソルトン
株式会社インターナショナル三興	／レンゴー株式会社	C.M. システムズ株式会社	
株式会社インパックグローバル	京町産業車輛株式会社	CKD 株式会社	第一施設工業株式会社
VALMATIC S.R.L.	株式会社共和	CGP COATING INNOVATION	第一実業株式会社
／MARTINI TECH 株式会社	株式会社協和自動車	／SHOKO INTERNATIONAL, INC.	株式会社第一包装機製作所
株式会社ウイイル	協和電機株式会社	GT-MAX INDUSTRIES SDN. BHD.	ダイオーエンジニアリング株式会社
WEBCONTROL MACHINERY CORP.	キョウワグリーン株式会社	ジービーエム株式会社	／大王/パッカー株式会社
／総武機械株式会社	近畿刃物工業株式会社	シール栄登株式会社	／ダイオーポータルケミカル株式会社
ウシオ電機株式会社	GUALA CLOSURES JAPAN 株式会社	シール工業株式会社	株式会社ダイケン
株式会社ウチダテック	クイック・ロック・ジャパン株式会社	株式会社ジューエム製作所	大成ラミック株式会社
エア・ブラウン株式会社	クオード・テック・インク日本支店	深圳市麦士德福科技股份有限公司	株式会社大洋精工株式会社
HMSインダストリアルネットワークス株式会社	グラコ株式会社	志賀包装機株式会社	台湾/パビリオン
株式会社エー・アンド・デイ	CLARIANT SOUTH EAST ASIA PTE. LTD.	株式会社システムスクエア	／LUYANG TECHNOLOGY CO., LTD.
ACS 株式会社	／株式会社東海化学工業所	株式会社品川工業所	／JENQ YI LAN ENTERPRISE CO., LTD.
／ACS 北九州株式会社	株式会社クラレ	株式会社シバタエンジニアリング	／GLOBE INDUSTRIES CORPORATION
エーシンパック工業株式会社	クラレレーディング株式会社	／株式会社ナノジェットジャパン	／TAIWAN TURNKEY PROJECT ASSOCIATION
株式会社エーティーエー	株式会社グランパックス		
株式会社エグシール	株式会社グリーンプラス		
	株式会社クワイート日報		

主な出展募集対象

第1類 包装機械および荷造機械

包装用計量機/計数機、充填機、製袋充填包装機、給袋充填包装機、容器成形充填包装機、ラベル貼機、小箱詰機(カートナ)、上包機、シール機、収縮包装機、真空包装機、梱包機(バンド掛機/ひも掛機)、外装荷造機械および関連設備など

第2類 包装材料加工機械

製袋機、スリット/リワインダ、紙/板紙加工機械、緩衝材製造機、プラスチック加工機械、製缶機など

第3類 包装用ロボット/包装関連機器/検査機・検出機

ハンドリングロボット(選別/供給/整列/集積)、協働型ロボット、整列機、自動供給装置(被包装品、トレイ)、小袋/カード投入機、印字機、バッファ

装置、接着剤/ホットメルトアプリーケータ、バーコードリーダ、容器洗浄機/洗びん機、静電気除去機、ストロー/スバウト装着機、打栓機、キャップ/キャップシーラ、缶シーマ、搬送装置(コンベヤ類)、重量選別機、金属検出機、シール/ピンホール検査機、異物検査機、X線異物検出機、印字検査機、色彩選別機、形状選別機/外観検査機、画像処理装置など

第4類 コンポーネント/環境関連機器/流通関連機器・サービス

空圧・油圧機器、工業用刃物(ナイフ・カッタ)、エアージャブ、ヒータ、ネジ/取っ手/工具、モータ/変速機/間欠装置、歯車/チェーン/ベルト/エッジコントローラ、ポンプ/タンク/配管/ホース、スイッチ/センサ/タイマ/温度調節器、電気/電子制御機器、圧縮梱包機(ベアラ)、粉碎機、生ごみ処理機、廃棄食品分離機/破袋機、廃棄物選別機、廃棄物リサイクル/発泡スチロール

JAPAN PACK 2017では、445社の企業にご出展いただきました(前回比30社増)。

／AIRBAG PACKING CO., LTD.	永井機械株式会社	日立造船株式会社	株式会社三橋製作所
TAVIL IND. S.A.U.	株式会社ナカキン	ビデオジェット・エックスライト株式会社 ビデオジェット社	美津和産業株式会社
株式会社高砂	株式会社中條製缶	／エスコラフィックス株式会社	株式会社ミマキエンジニアリング
高千穂精機株式会社	長野吉田工業株式会社	／ビデオジェット・エックスライト株式会社 エックスライト社	武藤工業株式会社
多賀電気株式会社	中村産業株式会社	ひょうご・神戸投資サポートセンター	株式会社ムラコシ
竹菱株式会社	株式会社ナカヤマ	／神戸市	株式会社メイワ
株式会社立花エレテック	ナビタスビジョンソリューション株式会社	FUTURE TECHNOLOGY RESEARCH CENTER	株式会社メカナイズ
株式会社タナックス	NAN SING PLASTICS LIMITED.	株式会社ヒューマンテック	株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン
田村機械工業株式会社	西部機械株式会社	ファナック株式会社	METRO PLASTIC MANUFACTURER
中部機械刃物株式会社	ニッカ電測株式会社	株式会社フクダ	SDN. BHD.
／福田刃物株式会社	株式会社ニッサンキコー	株式会社フクダ	MORNING STAR DEVELOPMENT COMPANY
一般社団法人中部包装食品機械工業会	ニッタ株式会社	株式会社フクチ産業	株式会社モキ製作所
青島華盛祥塑料制品有限公司	日本トムソン株式会社	富士インパルス株式会社	森川フードマシン株式会社
司化成工業株式会社	日本ブッシュ株式会社	株式会社フジキカイ	株式会社モリコー
株式会社塚谷刃物製作所	日本包装機械株式会社	株式会社不二越	株式会社モリシタ
榎本興業株式会社	日本ポリスター株式会社	不二精機株式会社	
ツバキ山久チエイン株式会社	公益社団法人日本包装技術協会	株式会社不二 WPC	や
ディ・アイ・エンジニアリング株式会社	株式会社日本 HP	富士電機株式会社	株式会社安川電機
株式会社 D.I.D	日本機械商事株式会社	富士特殊紙業株式会社	数内産業株式会社
株式会社 T&K TOKA	日本工業刃物株式会社	株式会社フジパックシステム	山崎産業株式会社
DSB BUSINESS MACHINE CO., LTD.	日本自衛精機株式会社	株式会社藤村工業	大和製衡株式会社
DC PACK CO., LTD.	一般社団法人日本食品機械工業会	株式会社不二レーベル	山中産業株式会社
TDI プロダクトソリューション株式会社	日本製図器工業株式会社	不双産業株式会社	ヤマハファインテック株式会社
TAE GYEONG M&T CO., LTD.	協同組合日本製パン製菓機械工業会	／友和産業株式会社	山本ビニター株式会社
株式会社テクニカ	日本 TNA 株式会社	株式会社フタバ	株式会社ユーキ
テクノクラシー株式会社	日本テクノロジソリューション株式会社	伏虎金属工業株式会社	株式会社ユーテクノロジ
株式会社テクノリサーチ	一般社団法人日本包装機械工業会	株式会社プラスワンテクノ	UBM PROPAK PROCESSING &
株式会社テックコミュニケーションズ	株式会社日本包装リース	株式会社古川製作所	PACKAGING EXHIBITIONS
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社	一般社団法人日本ロボット工業会	／株式会社ハイバック	ユニコントロールズ株式会社
テプラス株式会社	株式会社 NEW IWASHO	／株式会社シンワ機械	ユニテール株式会社
株式会社テフノリサーチ	／ダックエンジニアリング株式会社	株式会社プロスパークリエティブ	株式会社ユニバック
株式会社テックコミュニケーションズ	／株式会社サワーコーポレーション	株式会社フロンティアエンジニアリング	UNIFILLER JAPAN 株式会社
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社	株式会社ニューマインド	HUACHENG PACKAGE CO., LIMITED	株式会社横浜自衛機
テプラス株式会社	ニューリー株式会社	兵神装備株式会社	／株式会社旭電熱製作所
株式会社テフノリサーチ	ニューロン株式会社	ペーヴェ システック ジャパン株式会社	
株式会社テックコミュニケーションズ	NINGBO GANGJILONG PACKING CO.,LTD.	ベストパック株式会社	ら
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社	株式会社ネクスエアー	ベッカーエアーテクノ株式会社	株式会社ライスターテクノロジーズ
テプラス株式会社	ネットアンドプリント株式会社	ベッコフオートメーション株式会社	株式会社ラヤマパック
株式会社テフノリサーチ	ノードソン株式会社	ヘラマンタイトン株式会社	株式会社ランカー
株式会社テックコミュニケーションズ	のむら産業株式会社	堀富商工株式会社	LIN YI GUOSEN PLASTIC CO., LTD.
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社	は	POLYLAYERTECH S.R.L.S.	株式会社 Luci
テプラス株式会社	ハーマン・ウルトラソニック・ジャパン株式会社	香港貿易発展局	レオン自動車株式会社
株式会社テフノリサーチ	株式会社パールパッケージ企画	株式会社本間製作所	株式会社レザック
株式会社テックコミュニケーションズ	ハイウイン株式会社	ま	株式会社レッドアンドイエロー
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社	株式会社パイオニア風力機	マークム・イマージュ株式会社	株式会社レヨン工業
テプラス株式会社	／株式会社サン・エンジニアリング	株式会社マイクロ・テクニカ	ロック株式会社
株式会社テフノリサーチ	株式会社ハイメックス	株式会社マイクロボード・テクノロジ	ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社
株式会社テックコミュニケーションズ	萩原工業株式会社	マキー・エンジニアリング株式会社	ロパテックジャパン株式会社
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社	日光株式会社	株式会社マキテック	
テプラス株式会社	株式会社ハトライト	株式会社マキノシーリング	わ
株式会社テフノリサーチ	株式会社ハナガタ	株式会社マズダック	ワールドインキュベーター株式会社
株式会社テックコミュニケーションズ	株式会社花塚製作所	有限会社マツタカキカイ	／アイアイシー・アーゲー
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社	浜松ホトニクス株式会社	株式会社マツポー	ワイエイシマシナリー株式会社
テプラス株式会社	HANJAE P&S CO., LTD.	／HEUFT SYSTEMTECHNIK GMBH	株式会社ワタナベ
株式会社テフノリサーチ	／株式会社ハイプラスティックス	株式会社丸石製作所	株式会社フンウィル
株式会社テックコミュニケーションズ	ピアブ・ジャパン株式会社	丸東産業株式会社	
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社	ピーエス株式会社	三浦工業株式会社	
テプラス株式会社	有限会社樋口工作所	株式会社美木多機械	
株式会社テフノリサーチ	株式会社日立産機システム	／株式会社ミキタ	
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			
株式会社テックコミュニケーションズ			
／テュフ ラインランド ジャパン株式会社			
テプラス株式会社			
株式会社テフノリサーチ			

出展規程

JAPAN PACK 2019（以下、本展示会）の出展申込社（以下、出展社）は、本展示会主催者である一般社団法人日本包装機械工業会（以下、主催者）が定める「出展のご案内」（本紙）ならびに「出展社マニュアル」（2019年5月配布予定）の全記載内容の遵守を承諾したものとします。

1 出展申込／出展料

1-① 出展申込受付期間

- 1) 出展申込受付期間は、原則として2019年3月31日（日）までといたします。
- 2) 出展申込受付期間中においても満小間になった時点で申込受付を締切らせていただきます。
- 3) 出展申込受付期間以降（2019年4月1日（月）以降）においても、空き小間がある場合には出展申込を受付いたします。

1-② 出展申込方法

- 1) 出展申込書（「出展のご案内」同封資料）に必要事項をご記入のうえ、主催者にご送付ください。
- 2) 主催者は、出展社から送付された出展申込書の記載内容を確認のうえ、出展申込を受理いたします。受理された出展申込書は、申込受理欄に受理年月日ならびに受理番号等が付され、1小間につき50,000円（税抜）の出展申込金（出展料の一部）の請求書とともに、出展社に返送されます。なお、受理された出展申込書と出展申込金の請求書が主催者から出展社へ発送された時点で、出展申込が完了したものといたします。
- 3) 出展社は、支払期日までに主催者指定の口座に出展申込金をご送金ください。同支払期日・主催者指定口座は、出展申込金の請求書に記載されております。なお、振込手数料は出展社がご負担ください。
- 4) 主催者が支払期日までに出展社から同申込金のご送金を確認できない場合、当該出展社の都合による出展申込取消とみなされ、項目1-④（出展申込の取消）の適用となります。

1-③ 出展料

- 1) 1小間（2.97m×2.97m=8.82㎡）につき、下表の通りです。なお、一般社団法人日本包装機械工業会の正会員または賛助会員の資格を有する出展社には、正会員または賛助会員の出展料がそれぞれ適用されます。

正会員	220,000 円／1小間	団体 PR	100,000 円／1小間
賛助会員	260,000 円／1小間	プレス	200,000 円／1小間
一般	340,000 円／1小間		※価格はすべて税抜です。

- 2) 出展料に含まれるものは、以下①～⑥の通りです。
 - ① 出展小間
 - ② 仕切壁（隣接小間のある場合の後壁・側壁 ※システムパネル）
 - ③ 1小間につき1.5kW までの1次側電気幹線工事
 - ④ 共用施設の工事費・維持費
 - ⑤ 広告宣伝費（ポスター、招待状等）
 - ⑥ 展示会全般の企画・運営・管理費
- 3) 出展小間数に応じて下記のとおり出展料割引制度があります。ぜひご活用ください。

① 正会員	45小間以上	当該出展料総額の5%を割引
② 賛助会員	10小間以上	当該出展料総額の5%を割引
③ 一般	3小間以上	当該出展料総額の5%を割引
④ 新規（一般のみ）	1小間以上	当該出展料総額の10%を割引

※上記項目③と④は同時適用も可能です。例えば所属区分が一般で、3小間以上の新規出展社は当該出展料総額から15%が割引されます。

1-④ 出展申込の取消

- 1) 出展社の都合により出展申込のすべてまたは一部が取消された場合、出展社には次の解約料をお支払いいただくこととなります。なお、解約料は出展社からの任意書面による出展申込取消通知を主催者が受理した期日を基準とさせていただきます。

2019年3月31日（日）以前	当該出展申込金総額+消費税
2019年4月1日（月）～5月31日（金）	当該出展料総額の50%
2019年6月1日（土）以降	当該出展料総額の100%

- 2) 出展申込が取消された当該小間は、主催者が適切と考える方法で使用できる権利を有するものといたします。
- 3) 主催者は、本展示会の会期前および会期中における本出展規程違反または出展申込書への虚偽記載された出展社の出展申込／小間割当を取り消しできるものといたします。また、本項目（出展申込の取消）により、当該社には上記の解約料をお支払いいただけます。

1-⑤ 出展小間位置の決定

出展社の小間位置は、出展製品、出展規模、申込順位、過去の実績、実演の有無等を総合的に勘案のうえ、主催者により決定いたします。なお、出展社の小間位置は、出展社説明会（2019年5月開催予定）で発表いたします。

1-⑥ 出展料の支払い

- 1) 主催者は出展料の請求書を出展社へ発行（2019年6月予定）いたしますので、出展社は、同請求書に記載された支払期日までに主催者指定口座へ出展料総額および消費税額をご送金ください。なお、振込手数料は出展社でご負担ください。
- 2) 主催者が支払期日までに出展料総額および消費税額のご送金を確認できない場合には、当該出展社の都合による出展申込取消とみなされ、項目1-④（出展申込の取消）の適用となります。

1-⑦ 第三者への小間の貸与、転売の禁止

出展社は、有償無償にかかわらず、割り当てられた小間の一部または全部の第三者への貸与、転売および出展社相互間での交換ができません。なお、主催者は、小間の一部または全部の第三者への貸与、転売および出展社相互間での交換を行われた出展社の小間割当を取り消しできるものといたします。また、項目1-④（出展申込の取消）により、小間割当を取り消された当該出展社には解約料をお支払いいただくこととなります。

2 搬入出／展示装飾

2-① 出展製品等の搬入出および装飾施工／撤去

出展製品等の搬入出および装飾施工／撤去は、以下の主催者通知期間内にて行ってください。

搬入：2019年10月26日（土）～28日（月）

搬出：2019年11月1日（金）会期終了後～2日（土）午前（10：00予定）

出展申込から開催までのスケジュール



2-② 基礎小間および展示装飾

- 1) 主催者は、シングル小間の基礎小間として後壁および側壁(システムパネル)、小間番号板を施工します。ブロック小間および一部のダブル小間の基礎小間は、側壁と小間番号板のみとなります。
- 2) 上記項目1)以外の費用につきましては、すべて出展社のご負担となります。
- 3) 基礎小間の高さは2.7mです。小間内装飾の高さは、通路および隣接小間から1.0m内側にセットバックした範囲内で最高4.5mまでの装飾が可能です。また40小間以上のブロック小間に関しては、2.0m内側にセットバックした範囲内において最高6.0mまでの装飾を可能とします。ただし、出展社は装飾工事計画図面を主催者指定基礎小間施工会社(株式会社廣目屋)に提出し、主催者ならびに所轄消防署の許可を得ることが施工条件となります。

2-③ 火気・危険物の取扱い

展示会場内は裸火の使用、危険物の持込が禁止されています。これを解除する場合は所轄消防署長への届出、承認が必要です。また持込量は危険物の小間内レイアウトや隣接小間の状況などにより制限があります。指定数量を超える内蔵油を使用する機械の実演はできません。

3 その他出展関係

3-① 個人情報収集を主目的とした出展の禁止

出展小間内において自社が取り扱う製品の展示や商品、サービスのPRをすることなく来場者の個人情報の収集を主目的とした出展を禁止いたします。また、出展においては個人情報保護法の要件を満たした対応をお願いいたします。

3-② 製品デモ・プレゼンテーション

- 1) 出展製品の实演や説明等については、自社小間内でのみ可能です。自社小間内以外において来場者への強引なブース誘導行為、出展製品の实演(デモンストレーション)や説明、パンフレット類の配布、来場者勧誘、物品の販売等は行えません。なお、出展製品の实演の際には、出展社は来場者への十分な安全対策を講じてください。
- 2) 音響機材をご使用して出展製品の説明等を行われる場合には、近隣出展社の商談の妨げとならぬよう、以下①~③の条件をご遵守ください。
 - ① 小間正面から2.0mの距離で測定して、80 デシベル以下の音量でご使用ください。
 - ② スピーカーは通路側以外へ向けてご設置ください。
 - ③ 近隣出展社の商談等の妨げになると主催者が判断した場合には、当該出展社は主催者の指示に従ってください。

3-③ 試食・試飲

自社小間内の実演で生じた食品を試食に提供する場合は、所轄保健所への申請および手洗所設置等、承認条件の遵守が必要となります。なお、所轄保健所への申請は主催者が一括して行います。

3-④ 写真・ビデオ撮影や摸写の禁止

当該出展社または主催者の許可を得ずに、同出展社の出展製品や造作物等の写真・ビデオ撮影や摸写を行うことを禁止いたします。ただし、主催者が許可した公式記録撮影班(「公式記録撮影班」腕章着用)ならびに報道関係者(「報道関係者」腕章着用)が本展示会の会場全景および出展小間等の撮影を行う際は、可能な限りご協力をお願いいたします。

3-⑤ 知的財産権の保護、遵守

出展社は、知的財産権(特許権、商標権等)の保護、遵守に必要な措置を講じてください。

3-⑥ 保税展示場指定

本展示会は、2019年10月26日(土)から同年11月2日(土)までの8日間、保税展示場として税関へ許可申請いたしますので、外国製品(日本以外の地域で生産または製造されたもので、まだ輸入通関手続きを完了していないものを指す)の保税展示が可能です。

3-⑦ 損害責任

主催者は、本展示会全般の管理、運営、保全に最善の注意を払いますが、以下1)~4)の損害等について、一切の責任を負わないものといたします。

- 1) 出展社またはその関係者が出展小間を使用することにより生じた人身・物品等に対する傷害・損害等、もしくは出展社またはその関係者の不注意により展示会場内およびその周辺で生じた人身・物品等に対する傷害・損害等。
- 2) 主催者が天災その他の不可抗力により本展示会の開催を困難と判断し、本展示会を延期もしくは中止した場合に生じる出展社およびその関係者の損害、費用の増加、その他不利な事態等。
- 3) 自然災害、交通機関の遅延、社会不安等により生じる出展社およびその関係者の損害等。
- 4) 本展に関するあらゆる媒体資料やデータなどに偶発的に生じた誤字・脱字等。

※その他出展規程の詳細については「出展社マニュアル」(2019年5月配布予定)の記載内容をご遵守ください。

パッケージ装飾プランのご案内

様々なパーツの組み合わせにより、簡単にリーズナブルにご希望の小間装飾を実現します。詳細は2019年5月(予定)に当展公式ウェブサイト内にて掲載します。

* JAPAN PACK 2019公式ウェブサイト www.japanpack.jp

1小間参考例

1. カーペット	8.82m ²
2. パラペット	2.97m
3. 受付カウンター	1台
4. 折りたたみ椅子	1脚
5. 蛍光灯40W	2灯
6. 社名板	1枚
7. 取り付け・撤去費	

概算金額 ¥55,000 (税別)



※小間位置(角小間・中小間)により概算金額に若干の差異がありますこと、あらかじめご了承ください。

10月28日(月)

小間設営、手作業搬入
(車両は会場内に入場できません)

10月29日(火)
~11月1日(金)
会期

11月1日(金)

会期終了後~2日(土)午前10時(予定)

小間撤去、
出展製品搬出

お問い合わせ

一般社団法人日本包装機械工業会
「JAPAN PACK 2019」事務局

104-0033 東京都中央区新川2-5-6
包装機械会館3階

TEL. 03-6222-2277

FAX. 03-6222-2280

E-mail. japanpack@jpmma.or.jp

一般社団法人日本包装機械工業会 [JAPAN PACK 2019] 事務局
104-0033 東京都中央区新川12-5-6 包装機械会館3階
TEL. 03-6222-2277 FAX. 03-6222-2280

JAPAN PACK **2019**

2019 10/29 _{tue} → 11/1 _{fri}

幕張メッセ Makuhari Messe 
www.japanpack.jp